

## 平成28年11月 青果部 主要品目の市況

	種類	品名	市況の概要	H28年11月 数量 (トン)	H28年11月 平均単価 (円)	前年同月比 数 量	前年同月比 平均単価
1	野菜	大根	青森県産などの出荷終了が早く、神奈川県産・千葉県産は天候不順の影響により、入荷が遅れ、相場は堅調に推移しました。	526	129	103%	233%
2		はくさい	長野県産・北海道産の出荷終了が早かったこと、主な産地が茨城県になっても天候が不安定だったため入荷が安定しなかったこと、他大型野菜が少量高値で推移し需要が早まったのも手伝い、極端な単価高で推移しました。	798	129	152%	250%
3		きゅうり	埼玉県産・群馬県産中心に千葉県産・宮崎県産を販売しました。天候不順や夜温の低下により生育が遅れ入荷減となり単価高で推移しました。	291	457	96%	156%
4		ねぎ	ピークが遅れていた東北産・北海道産が上旬に入荷増となりました。販売環境も良く順調な販売となりました。	249	365	112%	148%
5		たまねぎ	北海道産中心の販売でした。大玉中心の入荷でした。入荷と単価が比例しませんでした。	689	74	83%	104%
6	果実	早生みかん	着色不良で入荷が遅れましたが、愛媛南地域は酸抜け良く、中旬より入荷増となりました。小玉も回復しました。	642	291	100%	120%
7		ふじ	長野県産の出遅れがある中、ギフト需要もあり上位品が非常に少なかったです。	292	352	98%	125%
8		次郎柿	10月の長雨、日照不足の影響で着色不良のため入荷が遅れましたが、上旬よりの集荷対策、単価高の後押しもあり、好結果となりました。	39	214	198%	129%